



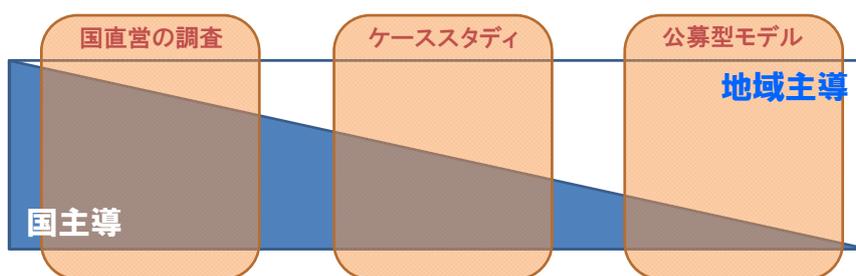
公益社団法人 中越防災安全推進機構
地域防災力センター 諸橋和行

雪国共通の雪かきの課題

- 除雪作業の安全確保 (Snow Safety)
- 担い手の確保 (Snow Rescue)
- 超高齢化・人口減少社会において、地域・集落等の住民生活をどう維持・継続していくのか
- 日本全体の問題 (都市も地方も関係ない)

課題解決のアプローチ

- **国主導** 各種調査、事例調査、ケーススタディ
- **地域主導** 公募型モデル事業
(雪処理の担い手の確保・育成のための克雪体制支援事業)



SNOW INNOVATION 雪国の挑戦

イノベーションのキーワード

- 行政から住民へ
- 当事者の姿勢
- 潜在力(新しい担い手)
- 平時への展開

SNOW INNOVATION 雪国の挑戦

• 行政から住民へ

- 当事者の姿勢
- 潜在力(新しい担い手)
- 平時への展開

主体を「公」から住民・地域へ

【北海道仁木町 銀山地域づくり研究会】

- 町が「銀山地域づくり研究会」を立ち上げ
- 課題の話し合い、大学生によるアンケート調査、除雪交流イベント「白銀物語」



研究会



白銀物語



白銀物語

- 「誤算」 共助は行政がお願いしてやってもらうものではない！
- 誤算をポジティブにとらえ、地域主導へと転換 次年度へ

 雪国の挑戦

• 行政から住民へ

- 当事者の姿勢
- 潜在力(新しい担い手)
- 平時への展開

主体を「公」から住民・地域へ

【青森県平内町 平内町社会福祉協議会】

- 従来は役場ボランティア等による高齢者宅の除雪作業
- 平成25年度から2つのモデル町内会で登録ボランティアによる除雪作業



住民との話し合い



除雪活動 作業前



作業後

- 町全体の仕組みを町内会単位へ
- 一方向的な制度から、対話型のローカルルールづくり

 雪国の挑戦

- 行政から住民へ
- 当事者の姿勢
- 潜在力(新しい担い手)
- 平時への展開

自分事であるということ

【福島県会津坂下町 NPO法人市民活動支援組織NIVO】

- 小中学校PTA、地域づくり協議会、自治会長会、青年会議所、学校等が連携
- 子どもたちの冬の安全を確保するためのパトロールと除雪作業



実行委員会



危険個所の氷割り



通学路パトロール

- 記録的な少雪を言い訳にせず、できる最大限のことを
- 「非常に悔しい、来年はリベンジしたい」



- 行政から住民へ
- 当事者の姿勢
- 潜在力(新しい担い手)
- 平時への展開

自分事であるということ

【兵庫県香美町 香美町社会福祉協議会村岡支所】

- 県内の雪の降らない地域からボランティアを確保
- 神戸の高校生ボランティアと地元高校生ボランティアによる共同作業



受入れ訓練



高校生ボランティア交流



- 広域ボランティアの募集・受入れシミュレーション訓練
- 初めてであっても万全の状態の本番に臨む



• 行政から住民へ
 • 当事者の姿勢
 • 潜在力(新しい担い手)
 • 平時への展開

多様なモチベーションを創出

北見市 とむての森		地元大学生 ・北見工業大学 ・日赤北海道看護大学	除雪ボランティアセンター 除雪専用の地域通貨 地域からの感謝状 単位の取得
札幌市 DEC		企業(新人・若手社) ・飲料メーカー ・テレビ局 ・建設会社	冬季限定 除雪券 冬金ちゃん <small>この事業は、平成24年度 雪国の安全安心な暮らし確保のための災害特別推進調査のモデル事業として行われるものです。</small> <small>NPO法人 とむての森 除雪ボランティアセンター</small>
滋賀県 高島市社協		都市住民(非雪国) ・京阪神の都市 ・長浜市 ・米沢市	県災害ボラセンの常設 (コーディネート体制づくり) 除雪支援アクションプラン
秋田県 藤里町社協		町のあらゆるリソース ・引きこもり者 ・シルバーバンク会員 ・事業組合	こみっとバンク(社協) 一斉除雪(試験的に実施)

• 行政から住民へ
 • 当事者の姿勢
 • 潜在力(新しい担い手)
 • 平時への展開

日常への落とし込み(持続化)

【山形県尾花沢市 尾花沢市民雪研究会】

- 平成20年度から共助による地域除雪活動を展開、地域間交流へ
- 平成25年度、尾花沢除雪ボランティアセンター開設

		
中学生・大学生の意見交換	クマモン参戦	大学生による除雪作業

- 市民研究会で実施していた国のモデル事業を市の仕組みへ
- 地域活性化イベントと組み合わせ、雪問題から平時の交流へ


雪国の挑戦

- 行政から住民へ
- 当事者の姿勢
- 潜在力(新しい担い手)
- 平時への展開

日常への落とし込み(持続化)

【新潟県柏崎市 柏崎市社会福祉協議会】

- 平成21年度から毎年、除雪ボランティアセンターを開設・運営
- 毎年、「カイゼン」を繰り返し、社協職員等が無理なくできる仕組みを構築



事前の現地調査



道具の準備



ボランティア受付

- ボランティアが「自立化」することで平時対応
- 特別なことではなく、社会福祉協議会の通常業務の延長線



Snow Innovation さらに加速へ

- イノベーションの「視点」の転換
 - ★「取組そのもの」がイノベティブ
 - ★「取組がもたらす地域の変化」がイノベティブ

継続の鍵

【山形県鶴岡市三瀬自治連合会 三瀬スノースーパー】



住民による有償除雪ボランティア組織



様々な地域活動が崩壊しており、
「除雪ボランティア」を通して立て直す



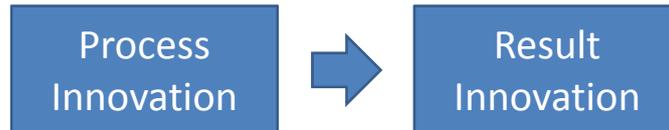
Snow Innovation さらに加速へ

- イノベーションの「視点」の転換

- ★「取組そのもの」がイノベティブ

- ★「取組がもたらす地域の変化」がイノベティブ

継続の鍵



- イノベーションの相乗効果

- ★ 情報交流（交流会、メーリングリスト、ブログ、瓦版）

- ★ 相互訪問



The screenshot shows the homepage of the Snow Innovation website. The browser address bar displays 'snow-innovation.net'. The page features a blue header with the 'SNOW INNOVATION' logo and navigation links: HOME, 事業概要, 採択プロジェクト一覧, お立ち上がりファイル, and 最新ブログ. The main content area has a large blue banner for '地域除雪イノベーション 活動団体交流サイト' (Local Snow Removal Innovation Activity Group Exchange Site), with a sub-headline '平成26年度 雪処理の担い手の確保・育成のための克雪体制支援調査' and buttons for '事業概要はこちら' and '採択プロジェクト一覧'. Below the banner is a photo of a group of people in winter gear at a snow clearing site, captioned '@中越 「雪かき道場」'. The lower section contains a news item titled '片品村 除雪対策会議（ワーキンググループ）の開催' (Hirashina Village Snow Removal Strategy Meeting (Working Group) Held), with a photo of a meeting and a list of topics. On the right, there are sections for '事業の経過状況' (Progress of the Project) and '各プロジェクトの活動' (Activities of Each Project), listing various regional projects like '西神楽「過年交流」', '当別「移住促進」', '銀山「一斉除雪」', '弘前「ホラ育成」', and '奥州「見守り」'.

全国11地域の代表が結集

<< スタートアップ交流会 開催 >>

● 雪害調査に結び全国11地域の代表者によるスタートアップ交流会が9月開催

国土交通省の「雪害調査」に結び、26年度「雪害調査」の推進の他、11地域の代表者によるスタートアップ交流会が、9月10日（日）に東京で開催されました。

● 今年を取り組みに対して専門家からアドバイス

交流会の司会を東北工業大学名誉教授、長岡技術科学大学の土村教授、中越防災安全推進機構地域開発部次長、今年のも動に対してアドバイスを行いました。

● 参加者を呼ぶWS

交流会の後半では、参加者（WS）を呼んで、「雪害調査」の推進の他、11地域の代表者によるスタートアップ交流会が、9月10日（日）に東京で開催されました。

● 除雪道のインフラと産業のフレキシビリティは意見交換

交流会の後半では、参加者（WS）を呼んで、「雪害調査」の推進の他、11地域の代表者によるスタートアップ交流会が、9月10日（日）に東京で開催されました。

● 参加者を呼ぶWS

交流会の後半では、参加者（WS）を呼んで、「雪害調査」の推進の他、11地域の代表者によるスタートアップ交流会が、9月10日（日）に東京で開催されました。

雪かき

第2号

<発行日>
2014年9月●日

<発行会>
(株)日本建設学会
全国研究発表

<監修>
国土交通省
国土政策局
地方政策課

SNOW INNOVATION

各地域からの取組紹介の様子



参加者全員によるグループワークの様子



● 次号では11地域代表者の声を紹介予定

今年にかけた雪かきに関する第二号として、11地域代表者の声を紹介します。

この事業を支えてくれる、頼もしい先生方



岡本先生 日野先生
津越先生 上村先生

広げよう「助け合い除雪！」 サポート情報

雪害調査の取組内容を紹介するブログを開始しました。11地域の取組の案内や活動報告などを紹介していく予定です。この機会にぜひご覧ください。

★URL★
<http://snow-innovation.net>




snow-innovation.net

8